

2. 指標設定

成果指標	指標名	自殺者数の減少		目標年度	指標の設定理由			
	数値	—			豊後大野市は自殺者が多いため対策の強化を行う			
活動指標	指標	a	ゲートキーパー受講数	b	フォーラム・講演回数	c	遺族支援実施率	d
	数値	目標	450人	目標	33回	目標	80%	目標

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H23	H24	H25
自殺者数の減少	人	10 人	11 人	10 人
		—	—	—

活動指標名	単位	H23	H24	H25
a ゲートキーパー受講数	人	331 人	462 人	491 人
		73.6 %	102.7 %	109.1 %
b フォーラム・講演回数	回	39 回	49 回	59 回
		118.2 %	148.5 %	1.76 %
c 遺族支援実施率	%	90 %	91 %	80 %
		112.5 %	113.8 %	100.0 %
d		—	—	—
		—	—	—

4. 課題と対応

課題
ゲートキーパーの役割の明確化と組織化。
対応（改善点等）
ゲートキーパーフォローアップ研修を通じてゲートキーパー連絡会を立ち上げ、H26年度以降も継続して地域を見守る体制の基盤をつくる。

5. 事業費・・・H23～H25（決算額）、H26（予算現額）

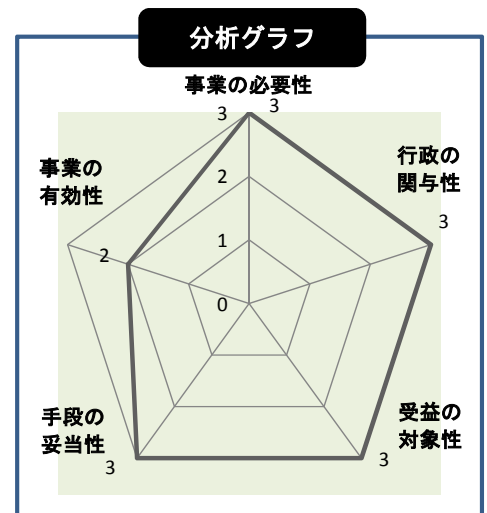
決算額（千円）		H23	H24	H25	H26
うち経常経費		3,701	3,460	2,575	3,158
財源内訳	国費				
	県費	2,141	1,878	2,572	3,120
	市債				
	その他	300	1,544		
	一般財源	1,260	38	3	38
うち経常					
事業費に係る人件費		10,965	10,734	12,989	12,686
事業費に係る人役		2.55	2.50	2.98	2.86

6. H27年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
市の重点課題として位置づけられているため。

7. 担当課による分析

	着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3	市の重要課題であるため。
② 行政の関与性	責任領域の精査	3	民間団体の立ち上げは困難であり地域づくりにつなぐ必要性あり。
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3	市民全体が対象となる。
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3	目的達成のため適切な手段である。
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	2	自殺率の減少率は高かったが引き続き評価する必要があるため。



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	引き続き、適切かつ効果的な支援を実施すること。